

専攻科 神学専攻

教育目的

福音主義キリスト教の信仰に基いて短期大学における一般のおよび専門的教養の基礎の上に、さらに広い視野に立って、神学に関する専攻分野についての専門の学芸技能を教授し、その研究を指導し、精深な学識と研究能力を培うことを目的とする。

〔I〕 専攻科（神学専攻）における就学の心得

1. 専攻科(神学専攻)の学生は、キリスト教界における教職者として働く使命感を明確に持ち、その志を果たすために必要な、神学に関する専門教育および訓練を修得するのであるから、教職を志す者として聖書に親しみ、祈り深く、教会生活に励み、人格と品性の向上に努めなければならない。
2. 専攻科(神学専攻)の学生は、神学に関する基礎の学びとともに、更に専門の神学科目を修得するのであるから、より一層学修することこそ学生の本分であることを忘れてはならない。そのため、つねに自らも努力するとともに、教師の指導を注意深く受け、その最大の成果があがるように努力しなければならない。
3. 生活においては、学則、その他、学校の定めと指導に従うことはもちろんのこと、将来、教職者となるべく敬虔な生活を営まねばならない。（日本フリーメソジスト教団教憲教規の定めるところは、特にウェスレーの一般規則、特別規則および第2章教職の生活、第3章キリスト者の生活、第4章生活の指針に記されている）。
4. 日本フリーメソジスト教団に所属する学生は、学生であると同時に日本フリーメソジスト教団教規の定める身分（勤士、信徒伝道者、教職など）をあわせもつ者である。

5. 他の教派に属する学生は、その教団または教派の良い教職者となるように、各教会の期待に応えるため本学の建学の精神を重んじつつ、各自その教団または教派の徳をたてるように努力しなければならない。
6. 次の諸行事には特に積極的な参加が求められる。
 - 春と秋のリトリート、秋の特別講義の欠席は当日の科目の欠席となる。
 - 新入生歓迎会、クリスマス、卒業礼拝などにも積極的な参加が求められる。特に専攻科（神学専攻）ではフィールド・ワークの一部と考える。

〔Ⅱ〕 専攻科（神学専攻）の学位取得について

専攻科（神学専攻）は「大学評価・学位授与機構」から認定を受けており、所定の審査及び試験を経て、学校教育法に基づく「神学士号」が授与される。

〔Ⅲ〕 専攻科（神学専攻）カリキュラム及び修了要件

- 専攻科（神学専攻）の最低履修単位は62単位である。（但し基礎科目の履修が求められることがある。それらは「旧約聖書概論Ⅰ・Ⅱ」、「新約聖書概論Ⅰ・Ⅱ」、「N.T.ギリシア語初歩」である。）
- 卒業論文は、教員（主査）の指導に従うものとする。
- 各学期とも16単位を標準履修単位とする。（この標準と著しく異なって登録するためには許可を得なければならない。）